ほぼ週刊コラム　Partnership論　その２０１

**シリーズ：『米国Partnership税制勉強会』**

**第二十六回勉強会（通年内容は[年表rev.9](http://llc.a.la9.jp/Papers/evolution%20history/evolution%20history%20of%20US%20partnership%20taxation%20rev9.ppt)参照方）の準備**

[**the publicとpublicの17個の相違点についてここにまとめておいた**](http://llc.a.la9.jp/Papers/Duo%20Sunt/two%20powers%20principles%20rev5.pptx)

20160819 rev.1 齋藤旬

**IR4（第四次産業革命）の和訳作業ファイルrev16を**[作業ファイル](http://llc.a.la9.jp/Papers/IR4/The%20Fourth%20Industrial%20Revolution%20by%20Klaus%20Schwab%20revX.docx)**に**アップしておいた。

Cyber warfare 74

Autonomous warfare　自動的規範による戦争 75

New frontiers in global security　地球的安全保障のための未研究分野 78

Towards a more secure world　より安全な世界に向けて 78-80

今週はこれらを和訳した。

**今週のpunch lineは先週示した71頁の：**

第四次産業革命は、state relationships and international security（国家関係と邦際社会安全保障と）の本質に、根本的変化を生じさせる。当sectionではこの問題を特別の注意を払って検討する。なぜなら安全保障問題こそ、第四次産業革命が引き起こす全ての重要transformationsの中で、十分な議論が行われていない、すなわち、governmentsや防衛産業による議論ではなく、その外部にあるthe public domainによる議論が、十分に行われていないと私（Klaus Schwab）は感じるからだ。

･･･を選んだ。後戻りしたのは、下線を付したthe publicという表現が累計四回になり、そろそろ説明を、と思ったからだ。

**the public domainとはハーバーマスやテイラーが主唱するPostsecularismが言うところのthe public sphereのこと**。その説明は[このパワポ](http://llc.a.la9.jp/Papers/What%20is%20the%20key%20source%20of%20capacity%20to%20innovate%20this%20world/What%20is%20the%20key%20source%20of%20capacity%20to%20innovate%20this%20world%20rev1.pptx)の4頁5頁にある。必ず定冠詞theがつくことに注意。[the publicとpublicの17個の相違点についてここにまとめておいた](http://llc.a.la9.jp/Papers/Duo%20Sunt/two%20powers%20principles%20rev5.pptx)。次頁にも貼り付けた。とても重要な知識だから必ずご覧いただきたい。

西洋社会はこのthe publicとpublicとが共存して構成される。この二つのsphereはnorm（規範）が異なることからも分かるが、本来は共存が難しい拮抗しあうものだ。従って西洋社会の安定とは、内に常に緊張をはらんだ安定と言える。物性物理でいう内部応力の大きいダイヤモンドや強化ガラスの様な「安定」だ。平常時の日本社会の様に、（国家に向く方向を正方向として）一人一人に加わる斥力も引力も小さい「安定」とは異なる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　今週は以上。来週も請うご期待。

